



2025年1月21日
エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社
秋田県
東北電力株式会社

「エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社」にて
再生可能エネルギーの地産地消を実現！
～ 「あきたEネ！オプション水力100%」による供給を開始 ～

エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社 秋田工場（副社長兼秋田工場長：進藤 信彦、以下「エドモンド・オプティクス・ジャパン 秋田工場」）は、秋田県（知事：佐竹 敬久）および東北電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」へ加入し、2025年1月1日より、地元秋田のCO₂を排出しない電気の使用を開始いたしました。

これに伴い、1月16日、秋田県と東北電力はエドモンド・オプティクス・ジャパン 秋田工場へ認証書を交付いたしました。

エドモンド・オプティクス・ジャパン 秋田工場（秋田県湯沢市）は、50年以上にわたり、高精密球面レンズを製造しており、エドモンド・オプティクス株式会社（本社：米国、以下「エドモンド・オプティクス」）の主力的な製造拠点に位置付けられています。さまざまな技術を駆使し、航空・宇宙・ロボット・医療など幅広い分野において光学部品のシェアを拡大しており、光学業界の模範的なリーダーとなることを目指しています。

また、エドモンド・オプティクスは世界18の各拠点から代表者を集め、グローバルなサステナビリティ委員会を設立して持続可能な企業を目指し、環境負荷低減に取り組んでいます。

この度、「あきたEネ！オプション水力100%」に加入することで、工場で使用する電気のCO₂排出量を削減し、カーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

「あきたEネ！オプション水力100%」は、秋田県内においてCO₂排出量削減に取り組む企業等に向けて、CO₂を排出しない県営水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギーの地産地消に繋げる取り組みです。

秋田県および東北電力は、「あきたEネ！オプション水力100%」の提供を通じて、秋田県内で事業を営む企業等に対し、再生可能エネルギーの電気を供給することにより、企業価値の向上等による県内企業等の発展に貢献できればと考えております。

以上

（別紙）「あきたEネ！オプション水力100%」の概要について

【お問い合わせ先】

エドモンド・オプティクス・ジャパン株式会社 秋田工場	TEL0183(55)8410
秋田県 産業労働部公営企業課	TEL018(860)5012
東北電力株式会社 秋田支店地域共創本部（総務広報）	TEL018(865)0565（報道）

(別紙)

「あきたEネ！オプション水カ100%」の概要について

「あきたEネ！オプション水カ100%」は、秋田県内で、CO₂排出削減に取り組む企業等に向けて、CO₂を排出しない地元秋田の県営水力発電所の電気を供給するプランです。

＜「あきたEネ！オプション水カ100%」のスキームイメージ＞



■ 「あきたEネ！オプション水カ100%」の特徴

- ✓ 電気の使用に伴うCO₂排出量ゼロを実現し、「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」の報告等にも活用いただけます。
- ✓ 秋田県内の企業等のお客さまを対象とした地産地消の電気料金プランであり、秋田県産の水力発電のご利用をPRいただけます。

以 上